

学校だより

佐奈川の風



令和8年6月22日
第3号
豊川市立中部小学校
文責 中村 立志

4・5・6年生舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）（5月14日）

4・5・6年生を対象に、新国立劇場合唱団の皆様をお招きして舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）ワークショップを開催しました。

本事業は、文部科学省・文化庁による舞台芸術等総合支援事業の一環として実施されているものです。第一線で活躍するプロの表現者との交流を通じて、子供たちが本物の芸術を五感で体験し、豊かな感性や多様な価値観を尊重する心を育てることを目的としています。

今回のワークショップは、6月に予定されている「本公演」に先駆けて行われたものです。体育館に集まった子供たちは、プロの音楽家4名の圧倒的な声量と、美しい響きが重なり合う歌の迫力に、一瞬で心を奪われたようでした。

プログラムの後半では、本校の校歌をより美しく歌うための直接指導をいただきました。「姿勢」や「呼吸」「声の響かせ方」といったポイントを教わると、子供たちの歌声がみるみるうちに明るく、豊かに変化していくのが分かりました。プロの皆様にご導かれ、自分たちの声が体育館いっぱいに響き渡る心地よさを、肌で感じる事ができた45分間でした。

このワークショップを経て、6月の本公演ではさらに素晴らしい芸術の世界に触れることになります。本物の歌声が、今度は全編を通してどのように私たちの心に届くのか、今から楽しみでなりません。遠方より熱心にご指導いただいた新国立劇場合唱団の皆様、ありがとうございました。6月の再会を、子供たちと共に心待ちにしております。



運動会へのご参観、ありがとうございました（5月30日）

本日、爽やかな青空のもと、運動会を無事に開催することができました。早朝より、大変多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、子供たちへ温かい拍手と熱い声援を送ってくださいましたことに、心より感謝申し上げます。

天候にも恵まれ、心地よい風が吹く中、子供たちはこれまで練習してきた成果を存分に発揮し、グラウンドいっぱいに最高の輝きを見せてくれました。1・2年生：きらきら笑顔のダンスは見てのこちらまで自然と笑顔になってしまうような、愛らしさ満点の演技でした。ポーズが決まるたびに弾ける笑顔からは、「踊ることが楽しくてたまらない！」という純粋な喜びが溢れていました。

3・4年生：迫力満点の中小ソーランは、お揃いの法被を身にまとい、背筋をピンと伸ばして入場する姿からすでに気合いが伝わってきました。腰を低く落とした力強い踊りと、お腹の底から響く元気いっぱいの掛け声が重なり合い、見応えのある大迫力の演技となりました。



5・6年生：高学年のフラッグ演技は、さすが高学年、と思わせる静と動のメリハリが効いた見事な演技でした。青空に映える2色のフラッグが美しく波打ち、全員の動きがピタリと揃った瞬間に響く「バサッ！」という風切り音のインパクトは、観る者の心に深く染み渡る大きな感動を生み出しました。

全てのプログラムを終えた子供たちの顔は、やり遂げた充実感と満足感、そしてどこか一回り大きく成長したような誇らしげな表情に満ちあふれていました。

これまで子供たちを温かく支え、励まし続けてくださったご家族の皆様、本当にありがとうございました。

6年生三河国分尼寺跡史跡公園・豊川海軍工廠平和公園見学（6月5日）

6年生が社会科見学として三河国分尼寺跡史跡公園と豊川海軍工廠平和公園を訪れました。心地よい風が吹き抜ける見学日和の中、子供たちは五感をフルに働かせて地域の歴史に浸る一日を過ごしました。

午前中は三河国分尼寺跡史跡公園を見学しました。ボランティアガイドさんの丁寧な解説に耳を傾けながら、敷地内を巡りました。展示室では、実際に発掘された貴重な出土品を間近に観察。さらに公園内へ足を進めると、美しく復元された中門の雄大さや、ずらりと並ぶ礎石の跡を目の当たりにし、「ここに古代三河国の中心があったんだ」という歴史のロマンを肌で実感することができました。



お弁当を食べてエネルギーを補給した午後は、豊川海軍工廠平和公園へ。こちらガイドさんの案内のもと、静かに佇む第一火薬庫や第三信管置場などを見学しました。資料館では、かつてここにあった東洋一と言われた工廠の巨大さと、空襲によって失われた多くの尊い命の遺品や記録に触れ、戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを深く心に刻みました。

学年全員で同じ場所を歩き、同じ景色を見て、共に考えを深めた貴重な一日となりました。今回、地域の大切な史跡から得たたくさんの学びや気付きは、これからの社会科や総合的な学習の時間の追究にしっかりと生かしていきます。

お忙しい中、子供たちのために熱心に解説をしてくださったボランティアガイドの皆様、ありがとうございました。

2・4・6年生歯の健康教室（6月4日）

2・4・6年生を対象に、学校歯科医師の先生方や歯科衛生士の皆様をお招きして「歯の健康教室」が行われました。

この教室は、むし歯の原因や予防方法についての学びを通して、子供たちが自分の健康への意識を高め、生涯にわたって健康な生活を送る基礎を培うことを目的に、毎年実施しているものです。

子供たちは、普段使っているマイ歯ブラシと鏡を手に、プロの視点から正しいブラッシングの方法を丁寧に指導していただきました。さらに、それぞれの発達段階に合わせて、以下のような専門的な内容にも挑戦しました。



2年生は、楽しく歌いながら、踊りながらお口の中を守ってくれる「つば（唾液）」がどれくらい出るかを確かめる実験を行いました。

4年生は、むし歯に負けない強い歯をつくるために、フッ素がどのような効果を持っているのかを実験を通して学びました。

6年生は、鏡をじっと見つめながら、自分の歯肉（歯ぐき）の状態を観察し、歯肉炎を予防するための健康管理について考えました。

また、先生方からは「大人による仕上げ磨きは、小学校を卒業するまで続けてあげると良いですよ」というアドバイスもいただきました。

第1回学校保健委員会（6月9日）

スクールソーシャルワーカーの馬場孝利先生を講師にお迎えし、第1回学校保健委員会を開催しました。「自分も相手も大切にしたい気持ちの伝え方」をテーマに、低学年（1～3年）と高学年（4～6年）に分かれてお話を伺いました。

馬場先生からは、「相手を大切にすることとは、周りの人を嫌な気持ちにさせないこと」という、とてもシンプルで大切な心構えについて教えていただきました。

低学年の時間では、もし嫌なことをされてしまったら「やめて」と自分の気持ちをしっかり伝えること、そして自分が悪いことをしてしまったら「ごめんね」と素直に言えることの大切さを学びました。

高学年の時間では、「いじめ」についての深いお話がありました。「いじめをしてしまう子は、心が寂しくなっている」ということ。そして、いじめの周りには「加害者」「被害者」だけでなく、周りで囃し立てる「観衆」や、見て見ぬふりをする「傍観者」がいること。そのどれにもならない強い心をもとくと、一人ひとりが真剣な表情で人間関係のあり方を見つめ直していました。

お話のあとは、出されたお題についてグループで交互に話し合う「アドジャントーク」に挑戦しました。低学年も高学年も、友達の話をも否定せず、優しく受容して聴く姿が印象的でした。お互いの温かい聴き方のおかげで、体育館がたくさん笑顔に包まれました。



PTA 交流委員会 文化教室（6月15日）

PTA 交流委員会の企画による文化教室「美文字講座」が開催されました。今年度は、恭彩ペン書道教室の伊奈恭代先生を講師にお迎えし、「綺麗な漢字の書き方」をテーマにご指導いただきました。毎日、子供たちが鉛筆を握って熱心に勉強を学ぶ日々を見守る中、大人になった私たちも、日常で文字を綴る機会は多くあります。今回の講座では、私たちがこれまでの人生で一番多く書いてきた、そしてこれからも大切にしていける「自分の名前」を題材に、美しい漢字の書き方のコツを教えていただきました。

伊奈先生の丁寧で分かりやすいアドバイスに耳を傾けながら、参加された保護者の皆様は、一画一画に心を込め、大変真剣な表情で鉛筆を走らせていました。普段の忙しい日常から少し離れ、文字とじっくり向き合う静かで充実した時間は、とても素敵なりフレッシュのひとつときとなったようです。

企画から当日の準備・運営まで細やかに進めてくださった交流委員会の皆様、そしてご多忙の中、温かくご指導いただきました伊奈先生、誠にありがとうございました。また、ご参加いただいた保護者の皆様にも心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

4・5・6年生舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）（6月17日）

3・4時限目を使い、「舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）」の本公演が行われました。5月14日に行われた前回は5名の皆さんによる楽しいワークショップ形式でしたが、今回はなんと総勢32名もの新国立劇場合唱団の皆様が中部小学校に集まり、本格的な劇場へと生まれ変わる、圧巻の2時間となりました。



ステージの幕開けは、中部小学校の校歌を、プロの圧倒的な声量と美しい混声四部合唱で披露してくださいました。いつも自分たちが歌っている校歌が、体育館を震わせるほどの極上の音楽へと姿を変え、子供たちはと一瞬でその響きに引き込まれ、目を丸くして驚いていました。

前半は「ビリーブ」やベートーヴェンの「第九」など、子供たちにとっても耳馴染みのある名曲の数々が披露され、美しいハーモニーに誰もがうっとりとして聴き入っていました。そして後半は、いよいよ本場の「オペラ」の実演です。間近で繰り広げられる圧倒的な歌唱力と迫真の演技、長年引き継がれてきたドラマチックな物語の世界に、子供たちの視線は釘付けになっていました。

公演の最後には、今度は合唱団の皆さんの素晴らしいリードのもと、子供たちと合唱団が心を一つにして校歌を大合唱しました。プロの響きに包まれながら一緒に声を合わせた経験は、子供たちにとって忘れられない宝物になったはずです。拍手に応じてアンコール曲も披露してください、体育館全体の熱気が最高潮に達したまま幕を閉じました。

本物の芸術が持つ「美しさ」と「圧倒的なパワー」を全身で浴び、音楽の素晴らしさを深く心に刻んだ贅沢なひとときとなりました。遠方より中部小の子供たちのために最高のステージを届けてくださった新国立劇場合唱団の皆様、本当にありがとうございました。

6月中旬を過ぎ、日差しが一段と強まり、急に暑い日が続くようになってきました。子供たちの登校風景を見ても、日傘を使用したり、首回りを冷やすクールタオルを身に着けたりする姿が見られるようになり、いよいよ本格的な熱中症対策が必要な時期を迎えたことを実感しております。

学校では、毎日の熱中症指数（WBGT）の計測をはじめ、こまめな水分補給の呼びかけや、活動中の適切な休憩の確保など、健康を第一に考えた指導を徹底しております。

本格的な夏を前に、体がまだ暑さに慣れていない時期でもあります。子供たちが毎日元気に登校できるよう、ご家庭におかれましても「多めのお茶の用意」や「十分な睡眠・朝食」など、健康管理へのサポートとご協力をよろしくお願いいたします。